

# ヤッパリ 経済界のヒモがついていました 政治資金パーティ 1900万円が中田事務所に 高秀前市長を支えた、市内経済 界が主催 (2005.5.17)

大貫のり夫ジャーナル <http://ohnuki.jp/news/>  
[http://www.ohnuki.jp/news/news.cgi?  
cmd=dp&num=154&UserNum=&Pass=&AdminPass=&dp=](http://www.ohnuki.jp/news/news.cgi?cmd=dp&num=154&UserNum=&Pass=&AdminPass=&dp=)

ヤッパリ 経済界のヒモがついていました

ニュースNo : 154

NEW



政治資金パーティ  
1900万円が中田事務所に  
高秀前市長を支えた、市内経済  
界が主催

先月26日の夜、西区内のホテルで、中田市長支援のパーティ「横浜を発展させる集い」が開かれました。

主催は、前高秀市長を支えてきた、横浜市内経済界。主催者によ

ると参加者は約2300人。経費を差し引いた約1900万円が、中田市長の個人事務所に寄付されました。

中田市長は、「しがらみのない政治」をかねてから標榜していました。しかし、実際には、政治資金の提供を受けるといふ、何よりも強い、「しがらみ」をつくっていることとなります。

---

「天からの授かりもの」...天まで持ち上げた財界重鎮

「市長は孫、子のために横浜をつくると言っている。私の誇れる市長を持ったことは幸せ。天からの授かりものだ」と、藤木港運協会会長が中田市長支援のパーティで話しました。

同パーティは、4月26日夜、横浜中華街に隣接するホテルで開かれました。主催は、横浜市内の経済界などの有志による政治団体

「翔(はばたけ)ヨコハマの会」。昨年に続いて2回目の開催です。「ヨコハマの会」は、藤木幸夫港運協会会長、高梨昌芳横浜商工会議所会頭、鍵山秀三郎イエローハット相談役など、かねて、高秀前市長を支えてきた経済界のメンバーです。

### 何も変わらない大型開発市政

この3年間、中田市長が「市政改革」と称して行ったことは、8年ぶりの保育料値上げ、国民健康保険証の取り上げ、市営住宅建設休止、難病患者への療養費補助の廃止などなど、270億円を超える市民への負担増です。

一方、05年度だけでもみなとみらい21関連に187億円、スーパー中樞港湾整備として126億円、高速道路関連に109億円の巨費を投入しています。今回の中田市長支援の財界による資金集めパーティは、その大型開発等の見返りといえます。

先の市長選挙で、多くの市民が、市民不在の「大型開発」をすすめてきた市政の転換を求めてきました。その「大型開発」市政を支持し、前市長の選挙基盤になっていたのが、横浜経済界です。

### 自民党 市連が大会に中田市長を初招待



神奈川新聞4月27日付け転載

6月6日に開催される自民党横浜市連大会に、中田市長が初めて招待されます。

自民党は、これまで前市長の与党だったことから、市長選の対立候補の中田市長を大会に招待していませんでした。その自民党が、この3年間の中田市長の実績を評価して、次期市長選挙で、中田市長を軸に支援を検討する考えを示したものとして注目されます。